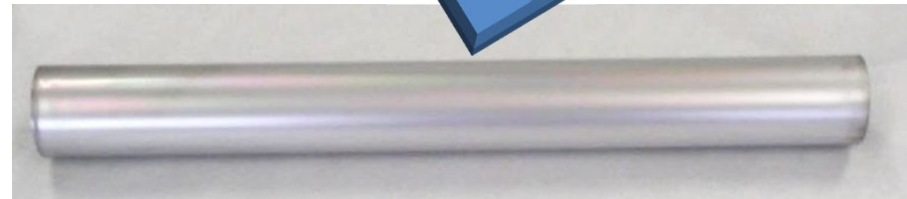


- ナノインプリント用めっきモールド

- ①レーザ直接描画やEB露光ではロール表面へのマイクロ、ナノパターンの安価な加工が困難。
- ②精密機械加工では、溝加工以外のパターン加工が困難。



- ① 加工時間の短い安価な製法はないか。
- ② 複雑三次元構造にも対応できる安価な製法はないか。
- ③ 金属の他樹脂製ロールにも加工できる方法はないか。
- ④ つなぎ目の無いシームレスロールモールドを安価につくれないか。

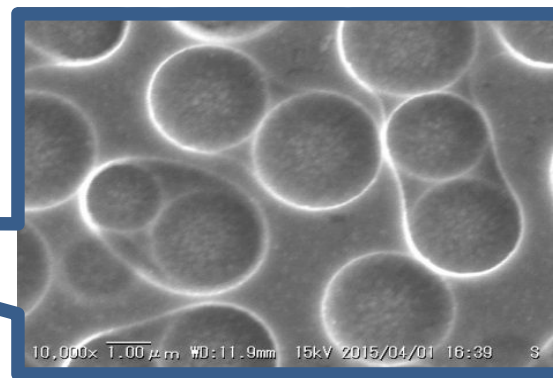
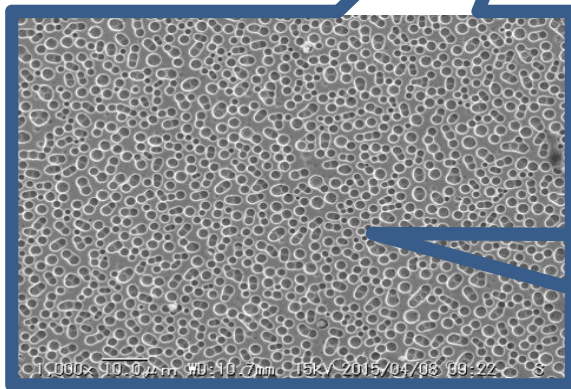
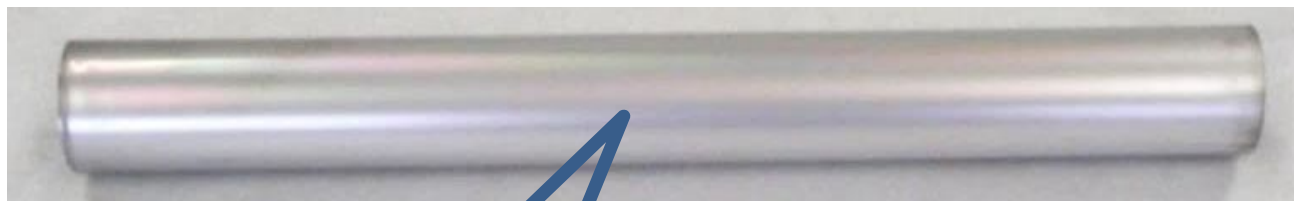


平板又は、ロール表面にマイクロ、ナノ構造を自己組織化めっきで作る。

(株)MEPJ様との (<http://www.mepj.jp/>) 共同開発

-MHP (マイクロホールNiめっき)ロールモールド-

Φ30mm中空ロール(SUS304、長さ300mm)



項目	仕様
ロール径(mm)	Φ5-Φ100
ロール長さ(mm)	100-600
ロール材質	SUS系,銅合金系
軸その他ロール形状	対応可能(ロール製作&支給)

離型性めっき膜の特徴

1. 無電解めっきによる極薄均質膜
2. 再生可能
3. 平板、ロールモールド表面にめっき可能
4. 安価

離型性めっき膜
(厚さ; 10~20nm)
再生可能

